

羽曳野市 避難所開設・運営マニュアル
(新型コロナウイルス感染症対応編)

令和2年9月

羽 曳 野 市

～はじめに～

本マニュアルは、新型コロナウイルス感染症が収束していない状況下において、避難所開設や運営時における感染拡大リスクが低減された避難所の運営を目的とし、とりまとめたものです。

実際の運用においては、本マニュアルを参考にした上で、各避難所の実情に応じて、対応してください。

なお、一般的な避難所開設・運営については、「羽曳野市避難所開設・運営マニュアル」を参照してください。

【 新型コロナウイルス対応に係る用語・定義 】

自宅療養者：新型コロナウイルス陽性者で保健所が健康観察を行っている者。定義は以下の通り。
対象となるのは、無症状病原体保有者及び軽症患者（軽症者等）の方のうち、感染防止にかかる留意点が遵守できる方であり、次の①～④の重症化の恐れが高い方に該当しない方。

①高齢者、②基礎疾患がある方、③免疫抑制剤や抗がん剤を用いている方、④妊娠している方

（参考：厚労省 令和 2 年 4 月 2 日通知）

*ただし医師が入院の必要がないと判断した場合であり、基本は宿泊療養とする。

濃厚接触者：新型コロナウイルスの陽性、陰性が判明しておらず、保健所が健康観察を行っている者。定義は以下の通り。

「陽性患者(確定例)」の感染可能期間（発症 2 日前以後）に接触した者のうち、次の範囲に該当する者

- ・ 陽性患者（確定例）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった者
- ・ 適切な感染防護なしに陽性患者（確定例）を診察、看護もしくは介護していた者
- ・ 陽性患者（確定例）の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
- ・ その他：手で触れることのできる距離（目安として 1 メートル）で、必要な感染予防策なしで、「患者（確定例）」と 15 分以上の接触があった者（周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する。）

（参考：国立感染症研究所 感染症疫学センター 新型コロナウイルス感染症に対する積極的疫学調査実施要領）

要配慮者：高齢者、障害者、乳幼児、その他特に配慮を要する者をいう。

（災害対策基本法第 8 条第 2 項第 15 号）

一般の避難者：上記の自宅療養者、濃厚接触者及び要配慮者に加え、発熱者を除く避難者をいう。

3密：密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、密集場所（多くの人が密集している）、密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）となる場所を指す

※上記の用語の定義は、更新される場合があるため、厚生労働省HPなどその都度確認してください。

—目次—

第1 事前準備	1
(1) 事前学習	1
(2) 感染予防物資・資器材の準備	2
第2 避難所開設・運営	3
(1) 避難所の開設	3
(2) 避難所の運営	4
(3) 発熱者が出た場合の措置	5
第3 避難所の閉鎖	6
(1) 避難所の閉鎖	6
(2) 健康観察	6

第 1 事前準備

新型コロナウイルスの感染が続いている状況下での避難所の運営は、通常の避難所の感染症予防対策に加えて、更なる対策の強化が必要となります。市職員、施設管理者、町会・自主防災組織などの代表者、避難者は、あらかじめ新型コロナウイルス感染症に関する事前学習や感染予防のための資材を準備しておきましょう。

(1) 事前学習

①新型コロナウイルス感染症とは

発熱やのどの痛み、咳が長引くこと（1週間前後）といった症状が多く、強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）を訴える方も多いことが特徴である一方、感染しても軽症あるいは治るといった例も多いですが、季節性インフルエンザと比べ、重症化するリスクが高いと考えられています。重症化すると肺炎を発症し、最悪の場合、死亡例も確認されており、特に、高齢者や基礎疾患のある方は重症化しやすいと考えられています。

世界保健機関（WHO）によると、潜伏期間は、1～14日間とされ、一般的に感染してから約5～6日で発症することが多いと考えられています。また感染力を調べた台湾の研究では、発症前から発症直後の時期に最も感染力が高く、発症6日目以降は感染力が大きく低下することが示されております。

一般的には、飛沫感染、接触感染により感染します。そのため「三つの密」を徹底的に避ける、「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」などの基本的な感染対策が必要となります。

②飛沫感染と接触感染

【飛沫感染】：感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染すること。

【接触感染】：感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつき、他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ることにより粘膜から感染すること。

③基本的な感染防止方法

（ひとりひとりが行う）

- ・ 頻繁な手洗いを徹底する。
- ・ 人と人との接触を避け、対人距離（できるだけ2 m、最低1 m）を確保する。
- ・ 咳エチケット・マスクの着用を徹底する。

（施設で対応すること）

- ・ 施設の換気を徹底する。（2つの窓を同時に開けるなどの対応等も考慮）
- ・ 入口および施設内に手指の消毒設備（石鹸による手洗い、手指消毒用アルコールなど）

を設置する。

- ・不特定多数が接触する場所（ドアノブ、トイレの便座、便座のふた、トイレットペーパーのふたや水洗レバーなど）は清拭消毒を行う。
- ・可能な限り、施設入所時の体温チェックを実施する。

（２）感染予防物資・資器材の準備

避難所の感染予防物資・資器材は、避難所にも最低限の備蓄はあるものの、数に限りがあることから、避難者が多い場合や避難が長期化する場合などは、不足することが想定されます。避難所開設の際には、市職員や避難者など、それぞれが衛生用品等を携行することが重要です。

そのため、平常時における訓練などの機会を通じ、基本的な災害時持ち出し品に加えて、以下のような衛生用品等についてできるだけ備蓄を行うよう、また避難所開設の際にこれらを携行するよう、地域の中で呼びかけ、周知を図っていく必要があります。

【感染予防物資・資器材の例】

- ・使い捨てマスク
- ・使い捨て手袋
- ・消毒液（アルコール、次亜塩素酸ナトリウムなど）
- ・ハンドタオル
- ・ペーパータオル
- ・ティッシュペーパー
- ・ウェットティッシュ
- ・ハンドソープ（石鹸）
- ・体温計
- ・ごみ袋
- ・室内用スリッパ

第2 避難所開設・運営

(1) 避難所の開設

避難所の開設にあたっては、避難者の健康状態を確認できる受付スペースの設置や、発熱、咳などの症状が出た方のための専用スペースを確保するなど、以下の点に留意する。

なお、市職員については、感染していた場合、多くの避難者に感染を広げてしまう可能性がありますので、必ず参集前に体温測定を行い、もしも発熱、咳などの症状が出た場合は、人員を交代し、代わりの人に業務をお願いします。

①避難者を振り分ける総合受付の設置

総合受付においては、避難者の健康状態を確認し、濃厚接触者や一般の避難者、要配慮者や発熱者などを振り分けるため、避難所入口の外に設置してください。また、対応する受付場所の表示を分かりやすく掲示する、受付待ちの避難者が身体的距離（2 m程度）を確保できるよう、テープなどで線を引く、カラーコーンを設置するなど、あらかじめできる限りの準備をしておいてください。

②避難所の衛生環境の確保

- ・避難所の出入口、トイレ周辺、炊き出し場、食事スペース等には手指消毒液を設置し消毒を促す。（可能な限り手指消毒前に手洗いも併せて行うよう促す）
- ・他人と共用する物品や手が頻繁に触れる箇所（ドアノブ等）を工夫して最小限にするよう配慮する。
- ・避難所内（入口、掲示板、洗面所及びトイレ等）には、手指衛生、咳エチケット及び3密回避等と呼びかけるポスター等を掲示する。また、トイレのふたを閉めて汚物を流すよう掲示する。
- ・十分な空間（世帯間で1～2 m以上の間隔、一人当たり4 m²程度を目安）を確保できるよう準備する。身体的距離を確保できない場合、従来面積を確保のうえ、飛沫感染防止のため、世帯ごとに少なくとも座位で口元より高いパーティションを設置する。（ただし、出入り口の面は世帯間で1～2 m以上の間隔を確保すること）また、避難が長期にわたる場合は、パーティションやカーテンなどで仕切ることが望ましい。
- ・避難者への対応にあたっては、エコノミークラス症候群や熱中症等の対策にも十分留意する。

③専用スペースの確保

避難所内のレイアウトについては、専用スペースを設け、発熱などの症状が出ている方が行動するゾーン及び動線分けを行い、他の避難者と接触することが無いよう検討してください。

この際、例えば小学校については、従来、体育館を想定していますが、**発熱者への対応として多目的ルームや会議室等（各小学校にて対応スペースが違うため施設管理者に確認すること）を専用スペースとし、同一スペース内でのパーティションや間仕切り、簡易テント、段ボールベッド等の使用も留意してください。**

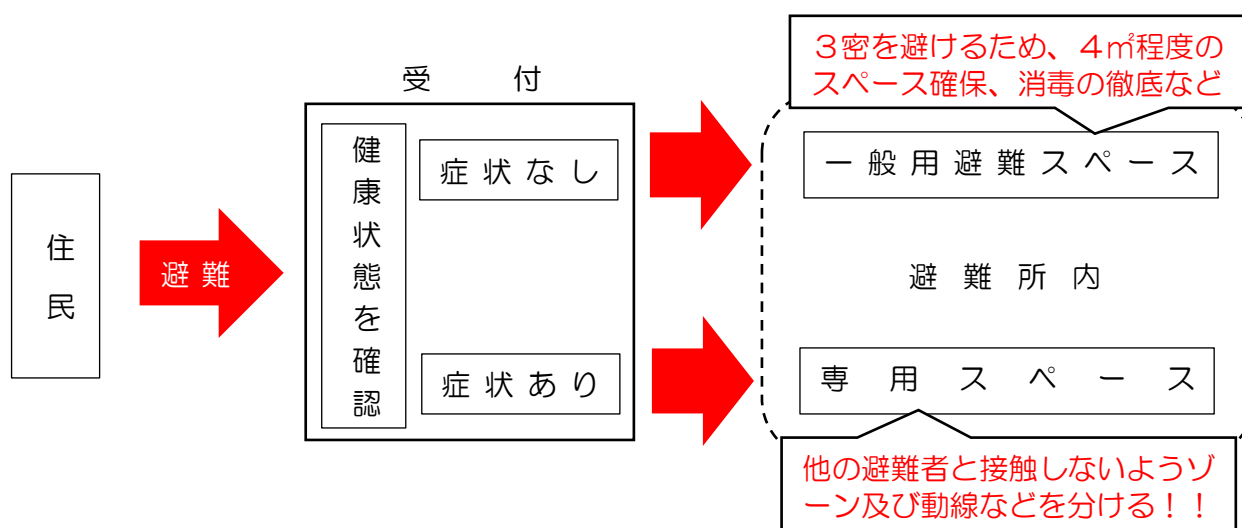
（２）避難所の運営

①受付時の対応

「避難者カード（感染症まん延時）」を活用し、発熱、咳などの症状がないか聞き取りを行い、可能な限り検温チェックを実施してください。この際、接触型の体温計を使用する場合は、感染防止のため毎回消毒を実施するよう留意してください。

上記により、濃厚接触者、一般の避難者、要配慮者などの振り分けを行った方を、それぞれのスペースへ誘導してください。この際、受付時から避難者がマスクを着用できるよう配慮し、咳などの症状が出ていない場合も可能な限りマスクの着用を呼びかけるよう心がけてください。

《避難所での振り分けイメージ》



②避難所内の清掃及び消毒

多くの方が利用する避難所は、衛生環境が悪化する恐れがあります。定期的に清掃を行い、感染症の原因となる細菌やウイルスを除去してください。また、複数の人の手が触れる場所は適宜消毒してください。

③避難者への周知・徹底

- ・避難者に対しては、手が汚れた時、外出から戻った時、多くの人が触れたと思われる場所を触った時など、こまめに手洗いするよう周知するとともに、咳エチケットなど基本的な対策について周知・徹底する。また、手洗い時は、タオルの共用は避けるよう指導

する。

- ・ゴミはビニール袋で密閉して処理するようにする。
- ・食事時間をずらすことや対面での食事や会話を控えるなど、食事時の3密対策を実施する。また、食品、物資の手渡しは回避するよう留意する。
- ・30分に1回以上の十分な換気を行う。効率的に室内を換気するため、対角方向の窓の開放を検討する。
- ・避難者に毎日検温や体調確認を行い、発熱等の症状があった場合は直ちに申し出るよう周知する。
- ・避難所内は土足厳禁とし、脱いだ靴を持ち込む場合は用意しておいたビニール袋に個人別に靴を入れる。車いす等の車輪は適宜消毒する。

④避難所の自主運営

新型コロナウイルス感染者が発生している場合においては、他地域からの広域応援が十分確保できないことも想定し、住民による自主運営の必要性を呼びかけ、避難所の居住区域、手洗い場、トイレなどの定期的な清掃・消毒など避難所運営への参画を促してください。

（3）発熱者が出た場合の措置

感染症を疑う何らかの症状がある避難者には、医療機関の受診を勧めてください。避難者が軽症と考えられる、又は災害の状況により医療機関に行けない状況などから、引き続き避難所で受け入れる場合には、隔離スペースを設けるなど十分な措置をとってください。

また、発熱者などが利用したエリアは消毒してください。

なお、医療機関へ引き継ぐときに健康状態を確実に伝達できるよう、あらかじめそれぞれ避難者自身に経過観察や体調の記録などをつけるよう周知してください。

※下記の症状の場合は、早急に新型コロナウイルス受信相談センターに連絡すること

○息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合

○重症化しやすい方（※）で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合

※高齢者をはじめ、基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患（慢性閉塞性肺疾患など）など）がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤などを用いている方

○上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合

（症状が4日以上続く場合は必ず相談すること。症状には個人差があるため、強い症状と思う場合にはすぐに相談すること。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様。）

第 3 避難所の閉鎖

（１）避難所の閉鎖

避難所生活が長引くことは、感染症を含めた二次的健康被害のリスクが高まるため、ライフラインの復旧状況などを考慮し、早期の避難所閉鎖を目指す必要があります。避難者の減少などに伴い、可能な限り個室の使用や世帯当たりの避難スペースを広げるなどの三密を避ける取り組みを継続しつつ、避難の必要性が低い方については、速やかに退所を進めてください。

（２）健康観察

市職員、施設管理者などは、避難所閉鎖から２週間、検温チェックなど自身の健康観察を実施してください。また、町会・自主防災組織などの代表者、避難者に対し、退所後の健康観察について周知してください。

参考様式等

I 避難者カード（感染まん延時）

避難者カード（世帯単位で記入）	記入日	年 月 日
避難所	受付番号	

※一緒に避難してこられる予定のご家族も全員記入してください

住 所 (連絡先)	(電話)	緊急時 連絡先	(親戚・知人など)
ふりがな	性 別	世帯主との 続柄	個別 支 援
氏 名			
(生年月日)			特別な配慮事項 (障がい者手帳の種類、服薬の有無 持病、妊婦、アレルギー等を記入)
1		世帯主	要・否
(明・大・昭・平・令 年 月 日生)			血液型 (A ・ B ・ O ・ AB) Rh (+ ・ -)
2			要・否
(明・大・昭・平・令 年 月 日生)			血液型 (A ・ B ・ O ・ AB) Rh (+ ・ -)
3			要・否
(明・大・昭・平・令 年 月 日生)			血液型 (A ・ B ・ O ・ AB) Rh (+ ・ -)
4			要・否
(明・大・昭・平・令 年 月 日生)			血液型 (A ・ B ・ O ・ AB) Rh (+ ・ -)
5			要・否
(明・大・昭・平・令 年 月 日生)			血液型 (A ・ B ・ O ・ AB) Rh (+ ・ -)
6			要・否
(明・大・昭・平・令 年 月 日生)			血液型 (A ・ B ・ O ・ AB) Rh (+ ・ -)
備考 (× モ)			
車 種		ナンバー	
車中泊による避難の場合			

この避難者カードの情報は、避難者の状況把握などに活用します。また、みなさまの安否についてご家族やご親戚からの問い合わせが予想されます。安否情報の問い合わせがあった場合はこのカードに記載された情報をもとに公表します。ただし個人情報保護のためご本人が認めていただいた場合のみ活用しますので、ご希望の方にチェックしてください。

☐ 公表してもよい ☐ 公表しない

Ⅱ 新型コロナ対応の避難者受付チェックシート

新型コロナ対応の避難者受付チェックシート ※避難者名簿と併せて使用する事			
			避難所
①記入日	年 月 日	②氏名	
③体温	度		
④質問項目			
☐	風邪の症状や発熱が数日間続いている		
☐	強いだるさ（倦怠感）や息苦しさがある		
☐	激しい咳症状がある		
☐	基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患など）がある		
☐	新型コロナウイルス陽性者と判定を受け、経過観察中である		
☐	新型コロナウイルス陽性者と濃厚接触者としたことがあり保健所の経過観察が終わっていない		
☐	直近 2 週間以内に海外の渡航歴がある		
☐	その他、体調が優れない（味覚・嗅覚異常なども含む）		
⑤その他、備考			
上記いずれかに該当する場合は、すぐに避難所職員に申し出てください			

Ⅲ 新型コロナ受診相談センター（帰国者・接触者相談センター）一覧

（令和２年４月２４日現在）

センター名	電話場号	F A X
大阪府池田保健所	06-7166-9911	06-6944-7579
大阪府茨木保健所		
大阪府守口保健所		
大阪府四条畷保健所		
大阪府藤井寺保健所		
大阪府富田林保健所		
大阪府和泉保健所		
大阪府岸和田保健所		
大阪府泉佐野保健所		
大阪市保健所	06-6647-0641	06-6647-1029
堺市保健所	072-228-0239	072-222-9876
高槻市保健所	072-661-9335	072-661-1800
東大阪市保健所	072-963-9393	072-960-3809
豊中市保健所	06-6151-2603	06-6152-7328
枚方市保健所	072-841-1326	072-841-5711
八尾市保健所	072-994-0668	072-922-4965
寝屋川市保健所	072-829-8455	072-838-1152
吹田市保健所	06-7178-1370	06-6339-2058

※土日祝含めた終日つながります。

新型コロナウイルス感染症対応時の避難所レイアウト(例) <避難受付時>

専用階段、専用トイレの確保をする。(専用階段については、確保が難しい場合は、時間的分離・消毒等の工夫をした上で兼用することもあり得る。健康な者との兼用は不可。)

専用スペースと専用ト
イレ、独立した動線を確
保できない場合は、混
雑接触者専用避難所を
別途開設することも考え
られます。

軽症者等は、予め災害時の対応・避難方法等を決めておくことが望ましい。

軽症者等及び新型コロナウイルス感染症と疑われる者の対応については、防犯担当部局と保健福祉部局等が十分に連携の上で、適切な対応を事前に検討する。

軽症者等が一時的に避難所に滞在する場合、敷地内の別の建物とする。

同一建物の場合、専用動線を分け、専用階段とスペース、専用のトイレ、専用風呂等が必要

※軽症者等であっても原則として一般の避難所に滞在することは適当でないことに留意する。

[illegible]

+ 看護師や保健師による巡回炊き出し

一人分ずつ
小分けにして配食



通路の幅は2m以上を確保

R2. 5. 20
第1版

用意するもの

- 体温計(非接触型)
アルコール消毒液(手指用)
次亜塩素酸溶液
ハンドソープ、ウェットティッシュ
フェイスマスク
ビニールシート
使い捨て手袋 など

受付時でのチェック

- 避難者カードの記入
- 発熱、咳等、体調の確認
- 要配慮等の確認 など

(マスク・体温計持参)

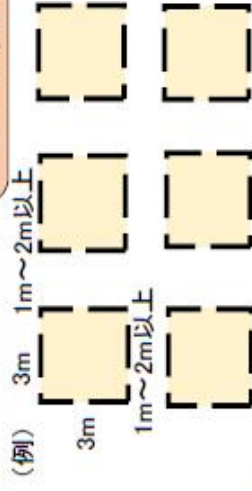
※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時に限って、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。



健康な者の避難所滞在スペースのレイアウト（例）

- 体育館のような広い空間において、健康な者が滞在するスペースとしては、以下のような方法が考えられる。
- 感染リスクの高い高齢者・基礎疾患を有する者・障がい者・妊産婦等が滞在する場合には、避難所内に専用スペースを設けることが望ましいが、体育館内に専用ゾーンを設け、以下と同様の考え方で利用することも考えられる。

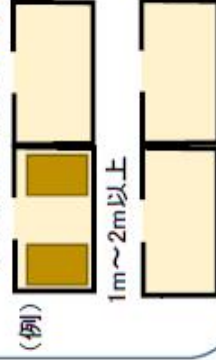
テーブル等による区画表示



※スペース内通路は出来る限り通行者がすれ違わないように配慮する必要がある

パーティションを利用した場合

- 飛沫感染を防ぐため、少なくとも座位で口元より高いパーティションとし、プライバシーを確保する高さにすることが望ましい。また、換気を考慮しつつ、より高いものが望ましい。



テントを利用した場合



○ テントを利用する場合は、飛沫感染を防ぐために屋根がある方が望ましいが、熱中症対策に十分注意することが必要

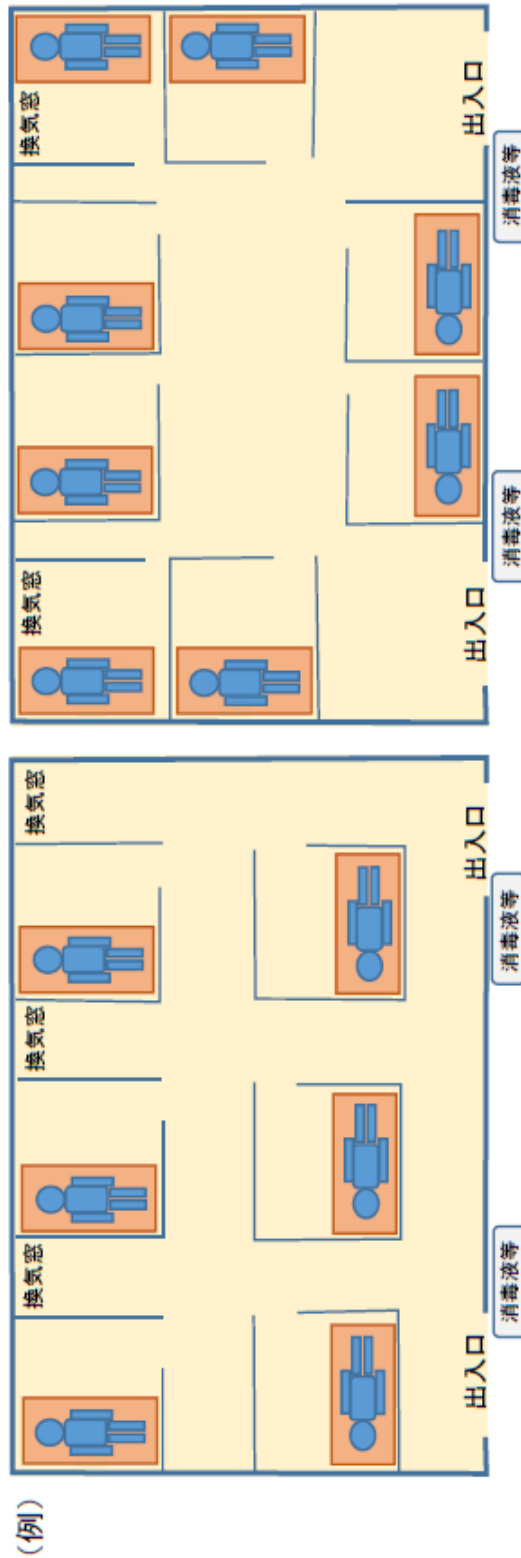


※ 人と人の間隔は、できるだけ2m(最低1m)空けることを意識して過ごしていただくことが望ましい。

※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

発熱・咳等のある者や濃厚接触者専用室のレイアウト（例）

- 発熱・咳等のある者は、可能な限り個室にすることが望ましいが、難しい場合はそれぞれ専用のスペースを確保する。やむを得ず同室にする場合は、パーティションで区切るなどの工夫をする。
- 濃厚接触者は、可能な限り個室管理とする。難しい場合はそれぞれ専用のスペースを確保する。
※濃厚接触者は、発熱・咳等のある者より優先して個室管理とする。



※飛沫感染を防ぐため、少なくとも座位で口元より高いパーティションとし、プライバシーを確保する高さにすることが望ましい。また、換気を考慮しつつ、より高いものが望ましい。

- ・軽症者等は、予め災害時の対応・避難方法等を決めておくことが望ましいが、避難所に一時的に滞在する場合がある。
- ・感染予防および医療・保健活動のしやすい観点から、地域における感染拡大状況や、各避難所、活用するホテル・旅館等の状況を踏まえ、防災担当部局や保健福祉部局等の連携のもと、必要に応じて特定の避難者の専用の避難所を設定することも考えられる。
(例：高齢者・基礎疾患を有する者・障がい者・妊娠婦用、発熱・咳等の症状のある者用、濃厚接触者用)

※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

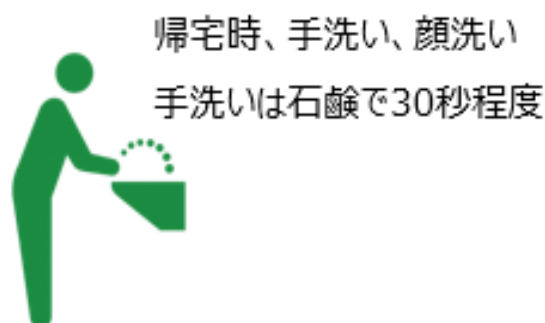
**新型コロナウイルスの感染拡大防止に向け、
府民の皆さまにお願いしたいこと**

「新しい生活様式」の実践をお願いします

① 「3つの密」を避ける



④ 手洗いの徹底



② 間隔はできるだけ2 m



⑤ 新しい働き方



③ マスクの着用



⑥ 「大阪コロナ追跡システム」



感染拡大防止のため府民の皆さまの協力をお願いします

大阪府ホームページ : <http://www.pref.osaka.lg.jp/>

出典：大阪府「新型コロナウイルスの感染拡大防止に向け、府民の皆さまにお願いしたいこと」

VI 避難者等に対する経過観察記録

避難者等に対する経過観察記録							
ふりがな		持病・服薬・アレルギーなど					
氏名	(歳) (男・女)						
		／ () ()	／ () ()	／ () ()	／ () ()	／ () ()	
症状	体温 (できるだけ同じ時間に測ってください。) (症状がひどくなった時にも測ってください。)	朝 ((時 分) (°C)	朝 ((時 分) (°C)	朝 ((時 分) (°C)	朝 ((時 分) (°C)	朝 ((時 分) (°C)	
		夕 ((時 分) (°C)	夕 ((時 分) (°C)	夕 ((時 分) (°C)	夕 ((時 分) (°C)	夕 ((時 分) (°C)	
		はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	
		息苦しさ (呼吸困難)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
		だるさ (倦怠感)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
		発熱	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
		咳、のどの痛みなど 風邪の症状	((時 分) (°C)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
		味覚や嗅覚の異常	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
		嘔吐や吐き気	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
		腹痛、下痢	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
		血便	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
		発疹	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
その他の症状 (体が重く感じる、疲れやすい等)							